

MIZUHO

みずほフィナンシャルグループ

2001年度決算説明会資料

2002年5月31日

みずほホールディングス

目 次

1. 2001年度決算の概要	P 2 - 3
2. 2001年度決算のポイント	P 4
(1) 資産内容の大幅改善	P 5 - 9
(2) 含み損の抜本処理	P 10
(3) 自己資本の充実 強化	P 11-12
(4) 資産効率の向上	P 13
(5) リストラの前倒し推進	P 14
3. 2002年度業績予想	
(1) 業績予想 (総括)	P 15-16
(2) BK / CB別収益計画	P 17-19
4. 新しいみずほの姿	
(1) 新みずほの経営	P 20
(2) 傘下 2銀行 (BK / CB) 概要	P 21
(3) みずほフィナンシャルグループの強み	P 22
データ集	[別冊]

1. 2001年度決算の概要

(単位: 億円)

	連結	3行合算	
	2001年度	2001年度	前年度比
連結 / 業務粗利益	24,620	18,299	1,905
資金利益	15,276	13,352	1,404
信託報酬	544	0	0
役務取引等利益	5,010	2,316	31
特定取引利益	1,788	1,185	114
その他業務利益	1,999	1,444	417
営業経費 / 経費	13,682	8,717	152
実質業務純益 (-)	10,938	9,582	1,752
与信関係費用	24,876	21,939	15,000
株式等損益	1,167	734	3,950
その他	726	350	124
経常利益	13,498	13,442	17,323
特別損益	753	1,233	506
税引前当期利益	14,251	14,676	17,829
法人税、住民税及び事業税	1,104	35	195
法人税等調整額	5,459	5,614	6,511
少数株主利益	137	0	0
当期利益	9,760	9,096	11,122
自己資本比率(国際統一基準、速報値)	10.56%		

増減要因等 (3行合算)

< 資金利益 >

有証利息配当金の増加 + 544億
スワップ収支の改善 + 888億 等

< 特定取引利益 >

対顧デリバティブの好調 + 131億

< その他業務利益 >

外為売買益の増加 + 614億 等

< 経費 >

人件費 : 人員削減等により 75億
物件費 統合関連経費 + 210億
預金保険料 + 50億

< 特別損益 >

偶発損失引当金 1,342億
退職金給付関連損益 + 1,055億

1. 2001年度決算の概要

(3行合算 部門別業務純益)

【単位：億円】

		2001年度	
			前年度比
リテール・ミドル	業務粗利益	7,256	159
	経費	5,203	50
	業務純益	2,053	109
ホールセール	業務粗利益	6,826	676
	経費	2,046	180
	業務純益	4,780	496
証券・IB 資産運用・信託 決済マルチメディア	業務粗利益	787	308
	経費	740	37
	業務純益	47	271
市場・ALM	業務粗利益	3,712	1,513
	経費	729	61
	業務純益	2,983	1,452
合計	業務粗利益	18,299	1,905
	経費	8,717	152
	業務純益	9,582	1,752

低金利環境下での預金収支の悪化が主因

シ・ローン、外為、対顧客デリバ等の非金利収入の増加

IB業務の一部がみずほ証券に移管子会社からの配当収入減少

内外での市場性収益が前年度比大きく改善

2 .2001年度決算のポイント

- | | |
|---|--------|
| (1) 資産内容の大幅改善 不良債権処理の進捗 <ul style="list-style-type: none">■ 年間で2兆1,900億円の与信関係費用を計上■ 不良債権残高の大幅圧縮 (01年9月末対比 10%) | P5 - 9 |
| (2) 含み損の抜本処理 分割・合併差益の活用 (4月1日) <ul style="list-style-type: none">■ その他有価証券の評価差額はプラスに転換
(02/3末 : 8,875億円 02/4期首 : +151億円) | P10 |
| (3) 自己資本の充実・強化 <ul style="list-style-type: none">■ 期末自己資本比率 (連結) は計画通り10.56%確保 | P11-12 |
| (4) 資産効率の向上 <ul style="list-style-type: none">■ 高収益資産増強の一方、事業ポートフォリオの見直し等で
リスクアセット 11兆円削減 | P13 |
| (5) リストラの前倒し推進 <ul style="list-style-type: none">■ 役職員数・拠点数の削減 | P14 |

(1) 資産内容の大幅改善

01年度処理内訳

査定厳格化・最終処理加速により、2.2兆円の処理実施
特に、大口先及び特定集団(含む、小口先)の処理が進捗

【単位:億円】

	ベース処理	大口先及び特定集団	処理合計額
01年上期	3,800	4,800	8,600
01年下期	3,300	10,000	13,300
01年度通期	7,100	14,800	21,900
	査定厳格化 : 3,800 最終処理 : 3,300	査定厳格化 : 9,200 最終処理 : 5,600	査定厳格化 : 13,000 最終処理 : 8,900

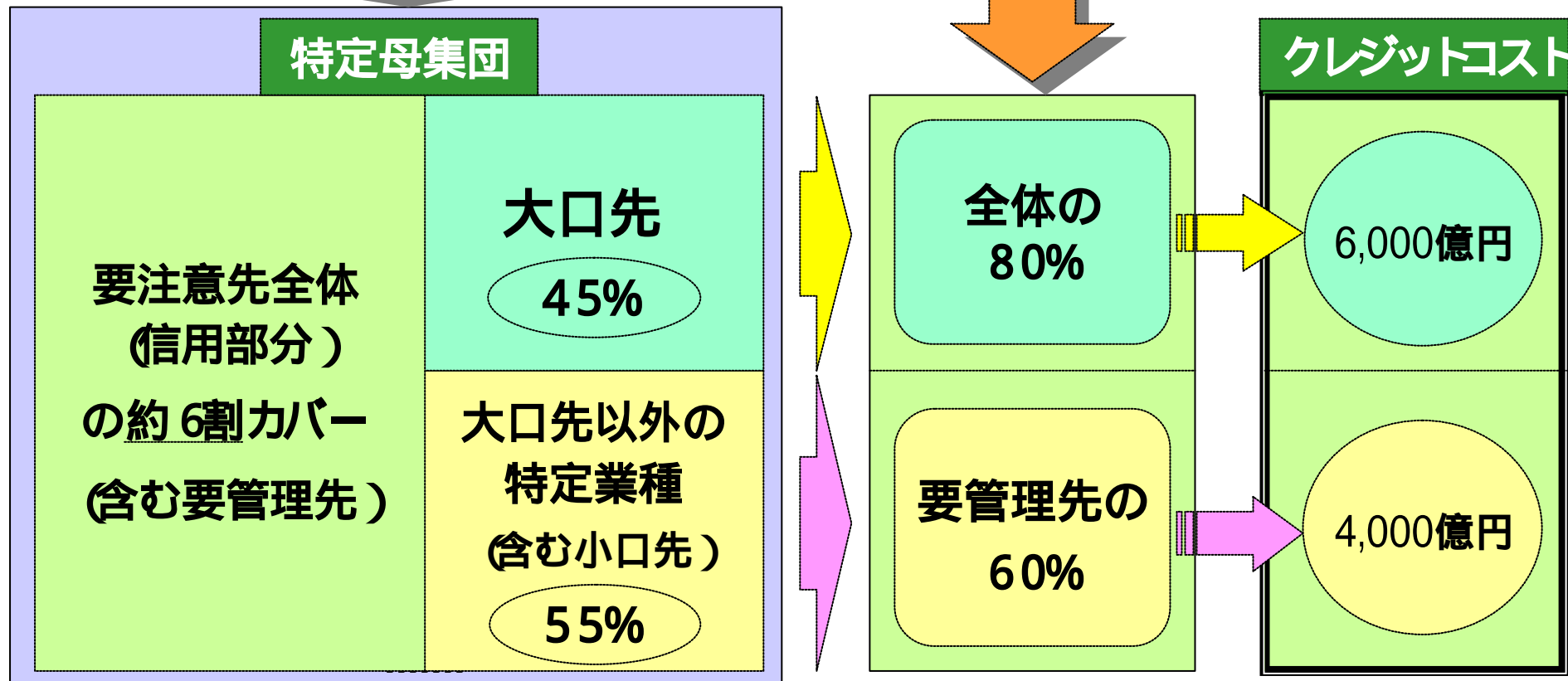
(1) 資産内容の大幅改善

01年度下期処理内容

01年度下期 特定母集団に対し1兆円の処理を実施

株価 格付 業種等を参考とした特定母集団

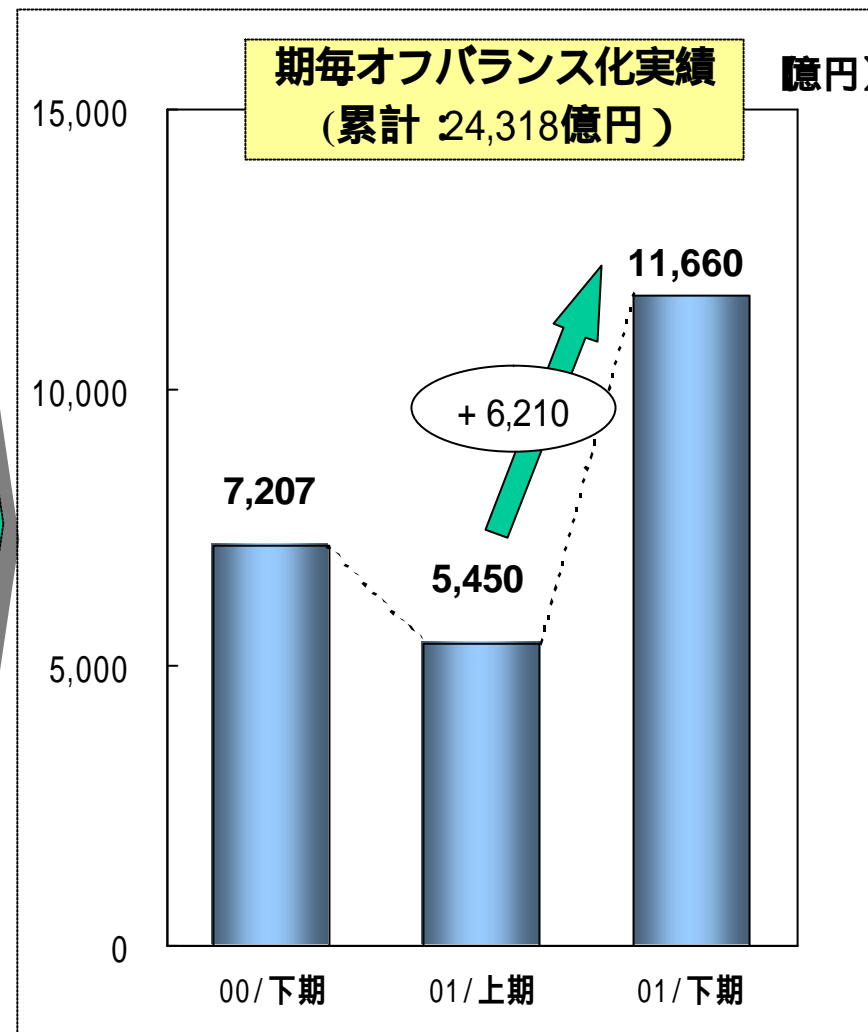
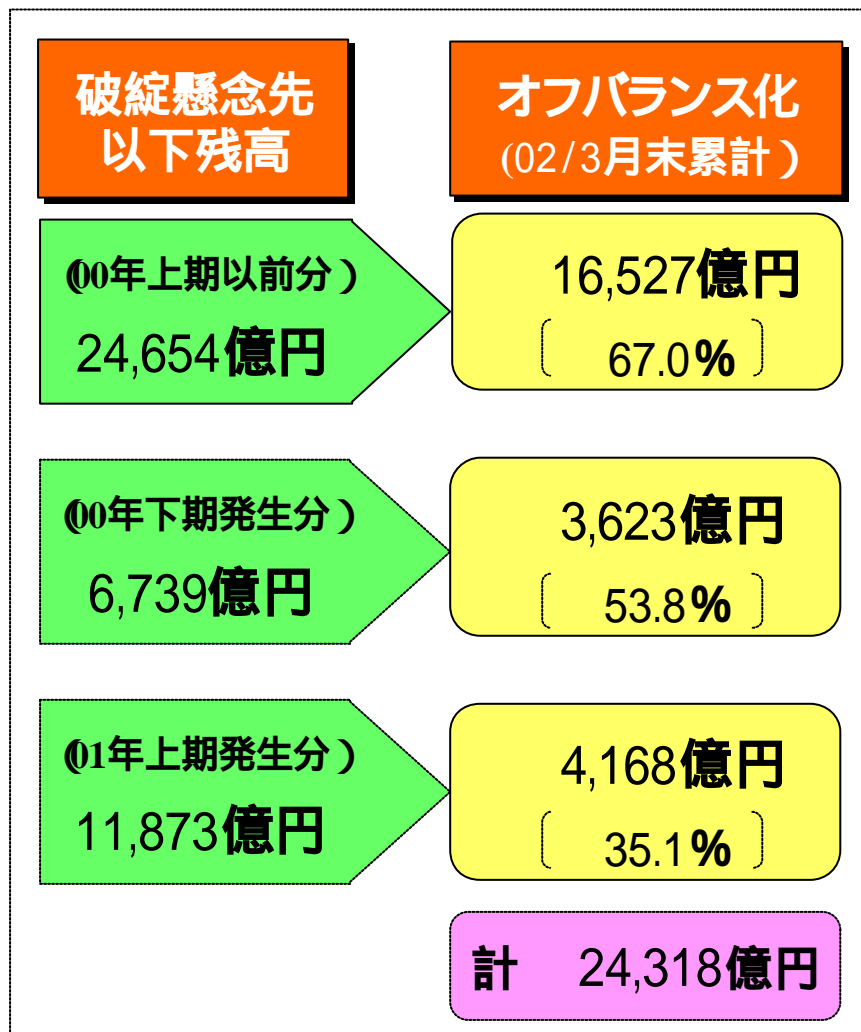
査定の厳格化に加え更なる追加処理



(1) 資産内容の大幅改善

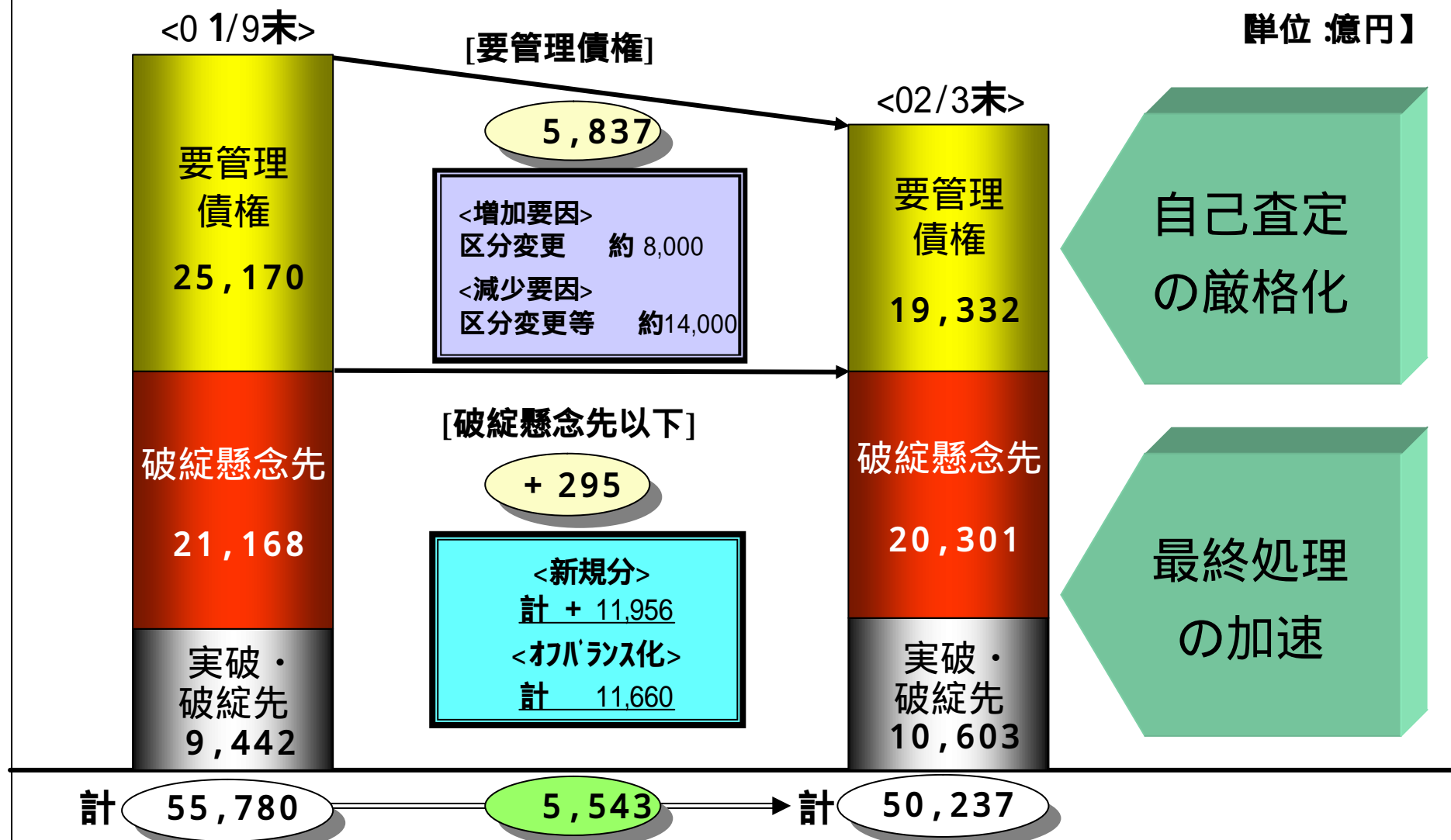
最終処理の加速

ガイドラインを上回るペースでの最終処理加速



(1) 資産内容の大幅改善 不良債権残高の圧縮

金融再生法開示債権残高は01年9月末比 5,543億円の圧縮

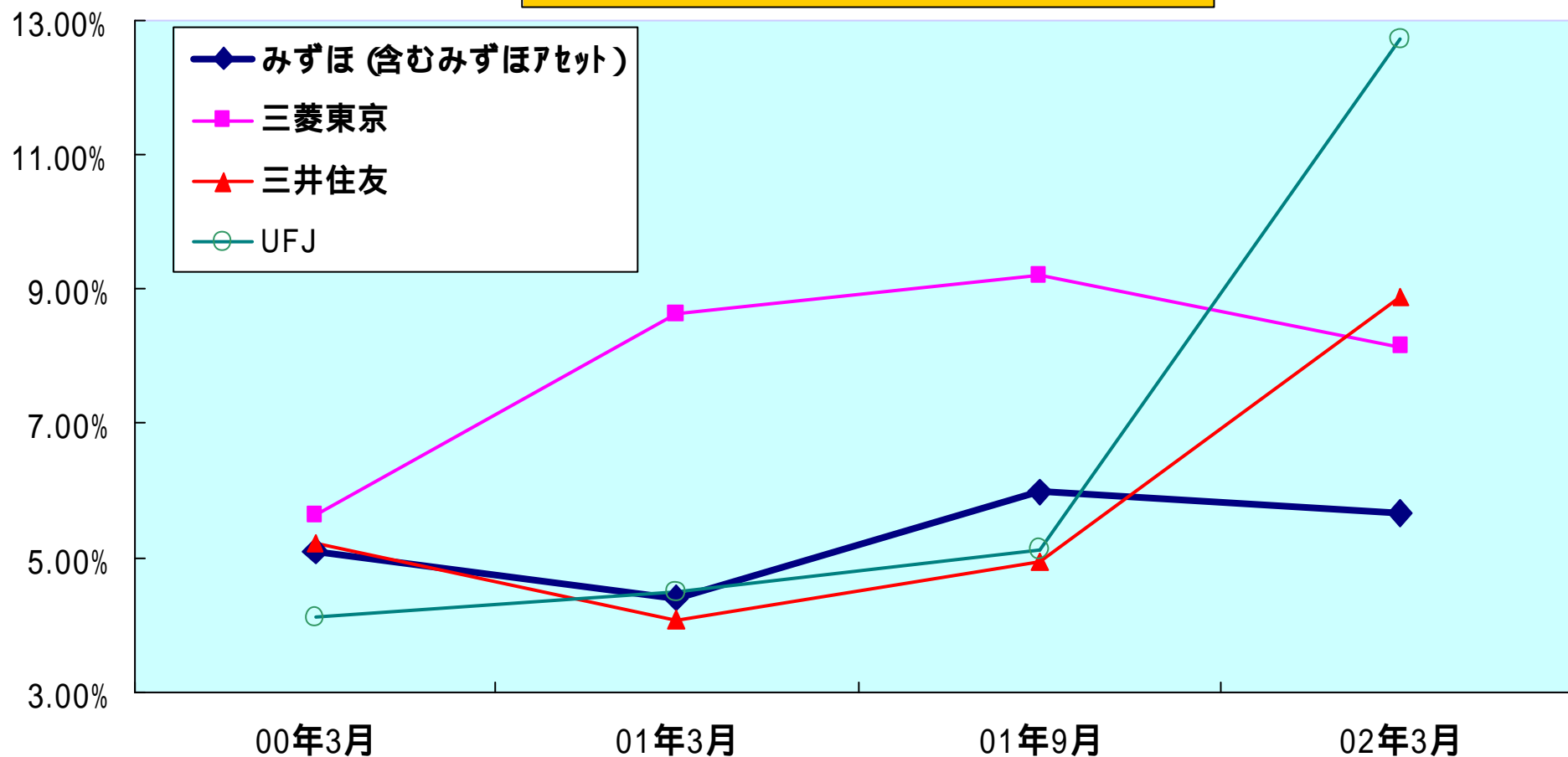


(1) 資産内容の大幅改善

不良債権の総与信比率

不良債権が総与信に占める割合も改善

金融再生法開示債権の総与信比

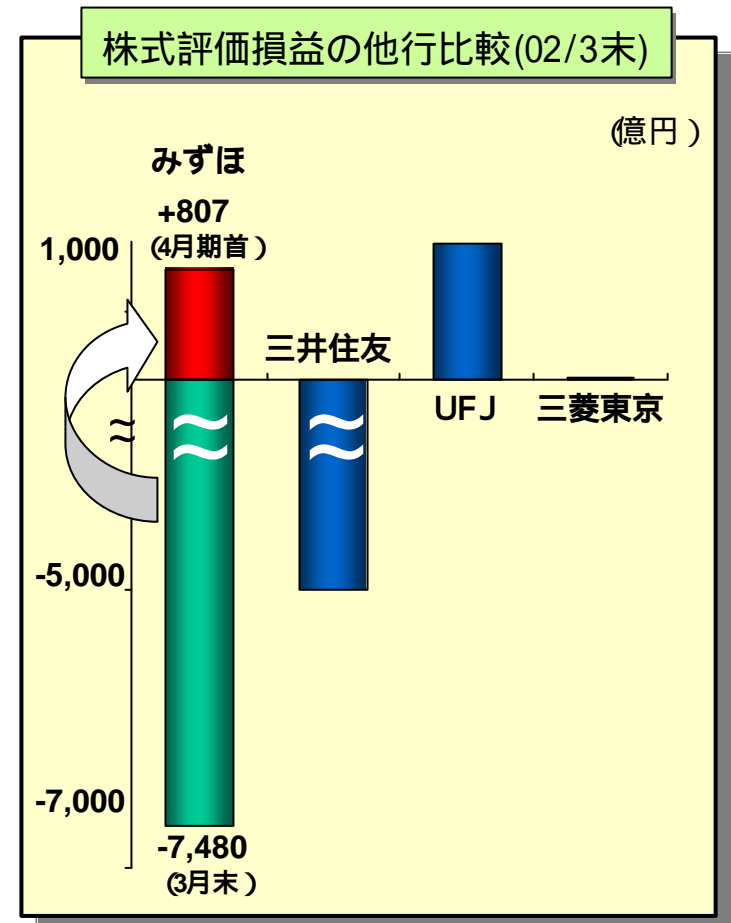


②) 含み損の抜本処理

分割・合併差益利用により含み損約1.1兆円処理

→ 将来収益の圧迫要因を大幅に軽減

【単位：億円】	前年度決算末の ネット含み損益 (3行合算)	含み損処理額	02年4月期首の ネット含み損益 (2行合算)
その他有価証券	8,875	9,026	151
うち株式	7,480	8,288	807
うち債券その他	1,394	738	656
繰延ヘッジ損益	4,125	1,597	2,527
退職給付債務 (会計基準変更時差異)	1,086	248	838
現地法人出資為替差額	1,169	510	659
		処理額計 11,383億円	



(3) 自己資本の充実 強化 自己資本比率

連結 B I比率 10% 台を安定的に確保

01年度実績

- 資本調達 : 3,565億円 (計画比 + 565億円)
- リスクアセット : 11兆円圧縮 (計画比 + 2兆円)

01/9末
連結 B I比率
10.5%

02/3末
連結 B I比率
10.5%

02/9末見込
連結 B I比率
10% 台

02年度計画

- ◇ 更なる資産効率化の徹底
リスクアセット削減 : 5~7兆円

(3) 自己資本の充実・強化 剰余金

分割・合併処理に伴い14年度期首時点で十分な剰余金を確保

◆ 傘下行 (BK + CB) (億円)

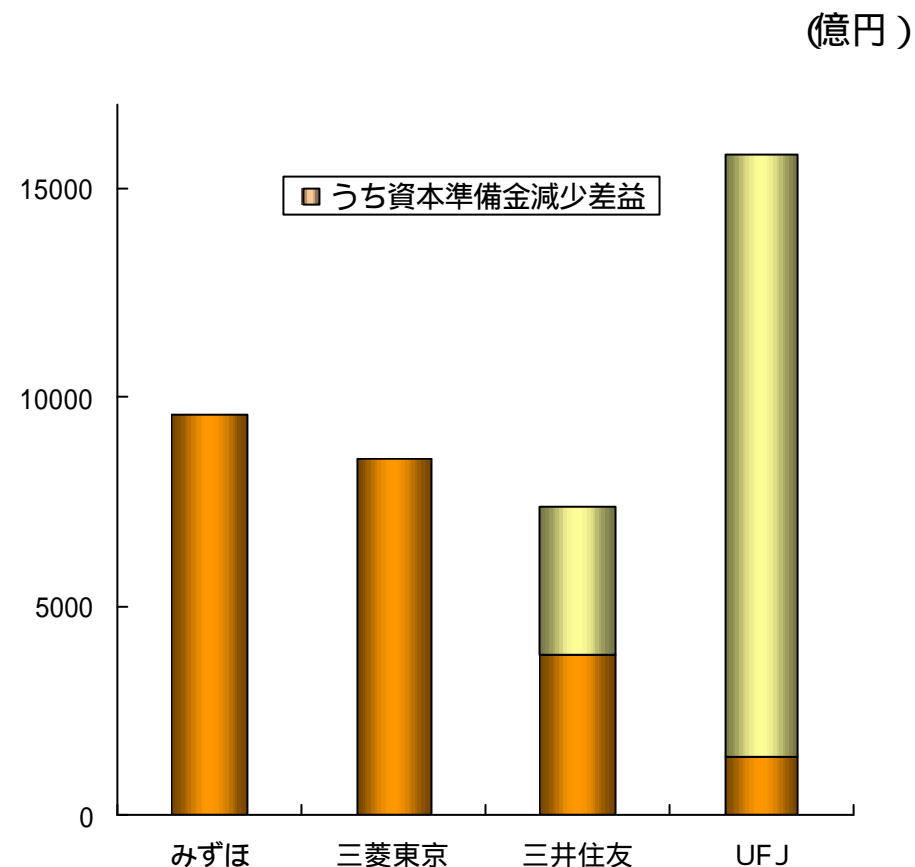
資本勘定	02/4期首)
資本金	11,800
資本準備金	15,891
利益準備金	3,435
再評価差額金	4,195
その他剰余金	8,103
有価証券評価差額金	57
合計	43,484

期首剰余金
計9,600億円

◆ みずほホールディングス

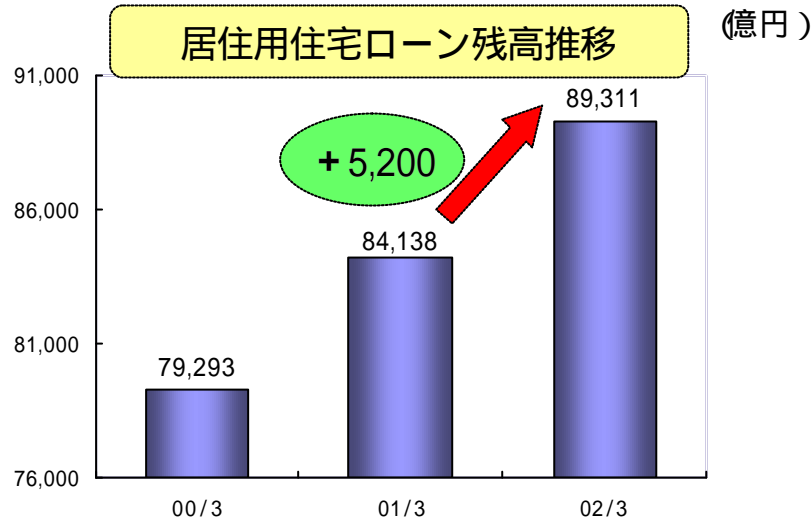
02/3末剰余金
1,485億円

剰余金レベル (持株会社 + 傘下銀行)

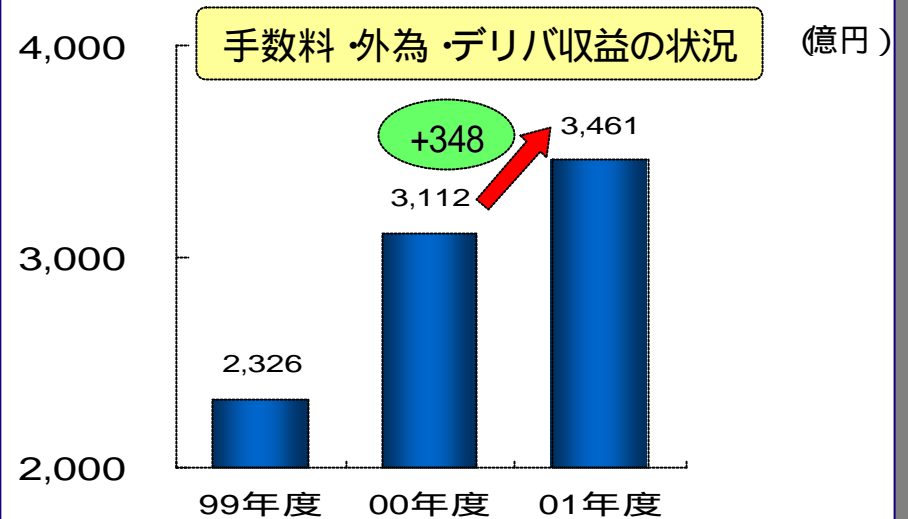


(4) 資産効率の向上

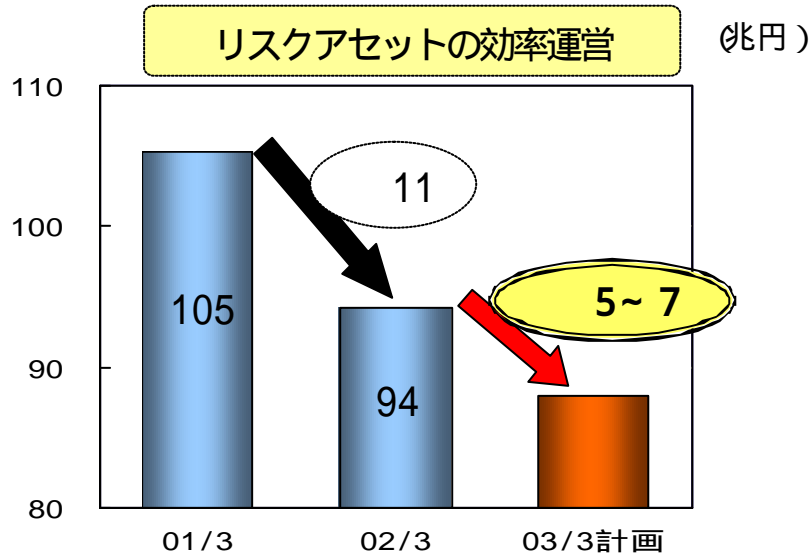
高収益資産への積極的取組



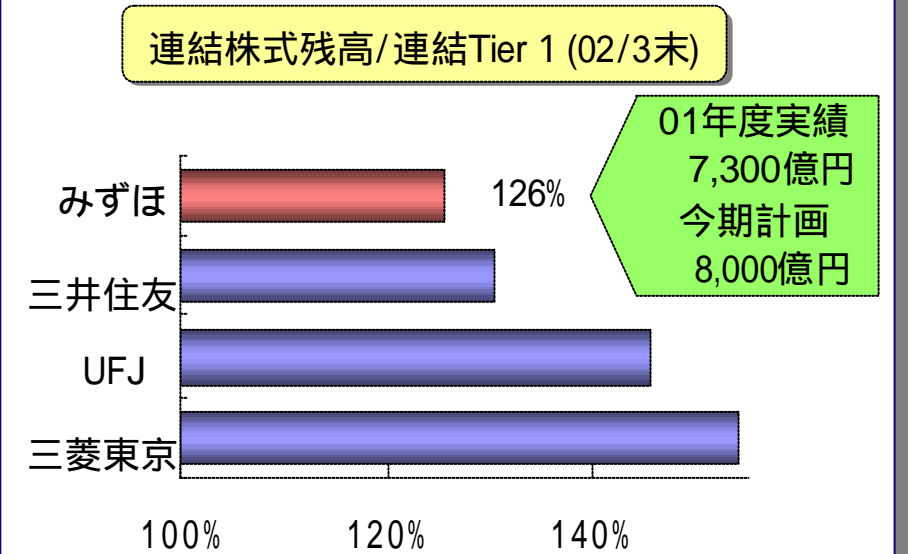
非金利収入の増強



低効率・低採算資産の圧縮

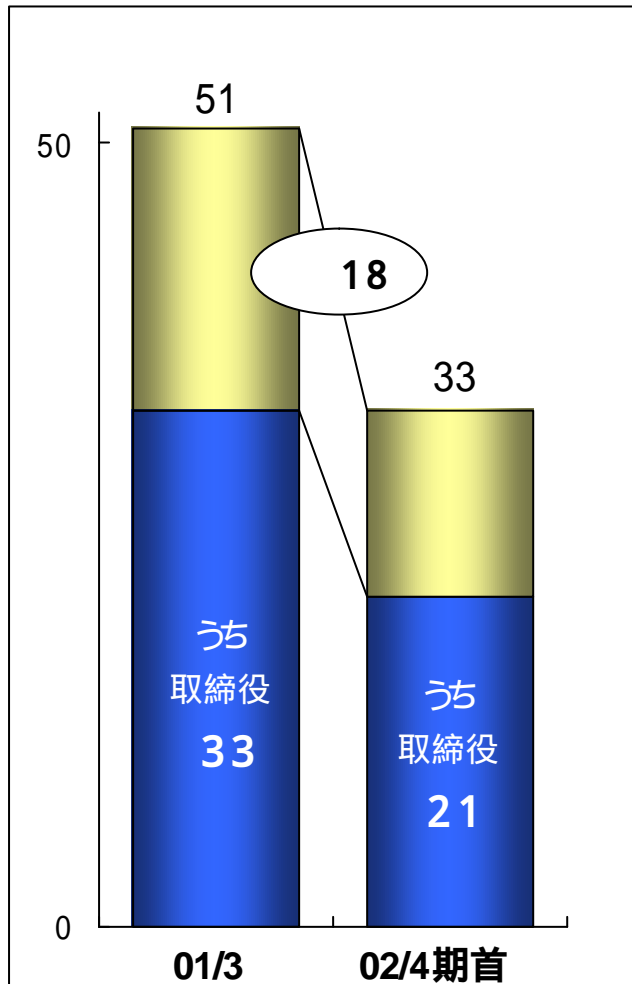


株式保有額の削減

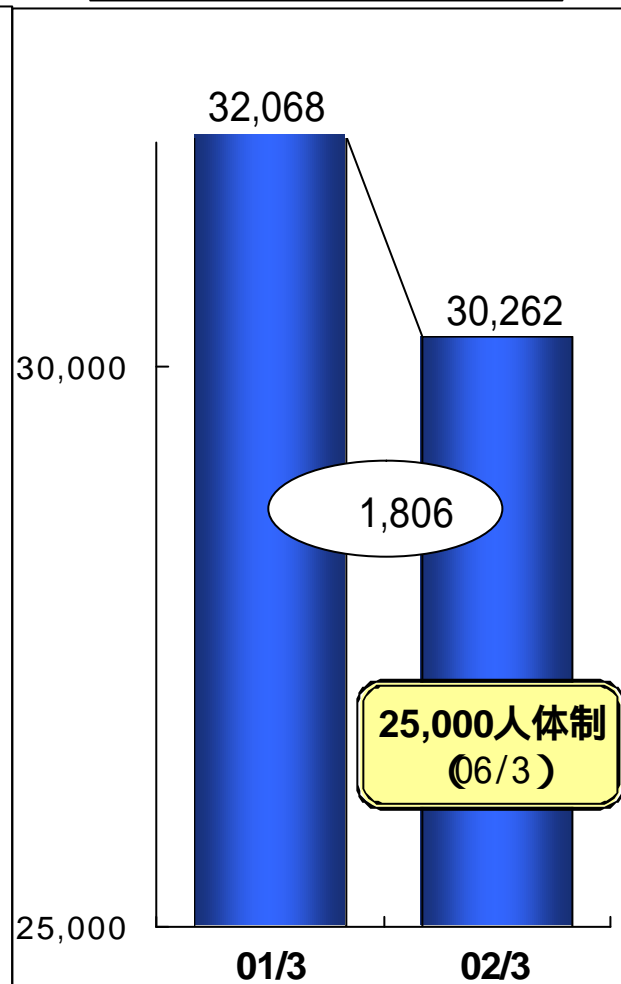


(5) リストラの前倒し推進

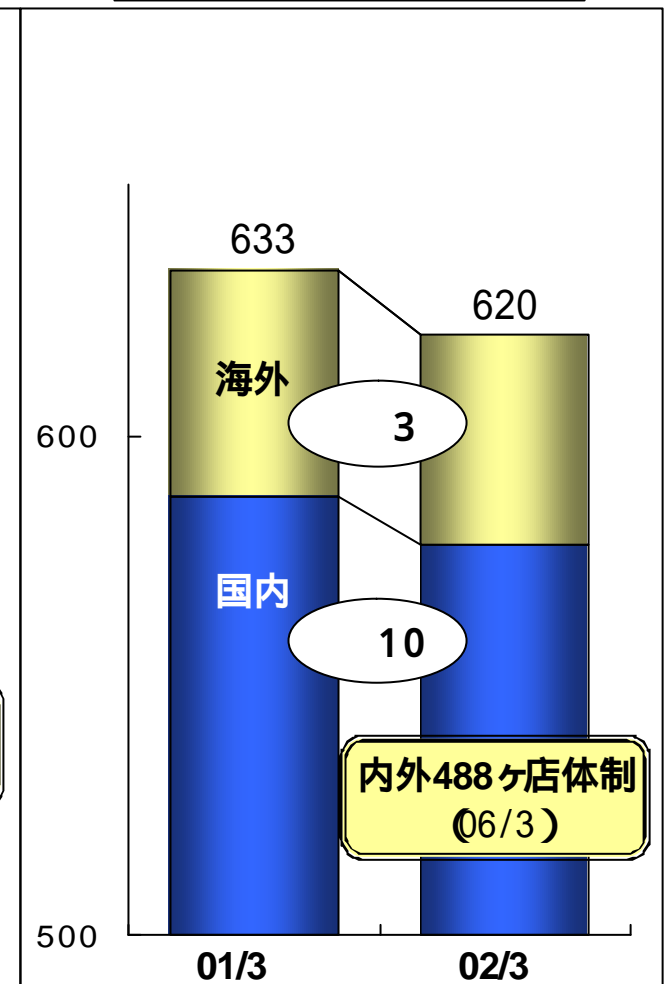
役員数



従業員数



国内外拠点数



〔 経営健全化計画ベース 〕

ホールディングス + 傘下 3行 (02/4期首はホールディングス + みずほ銀行 + みずほコーポレート銀行)

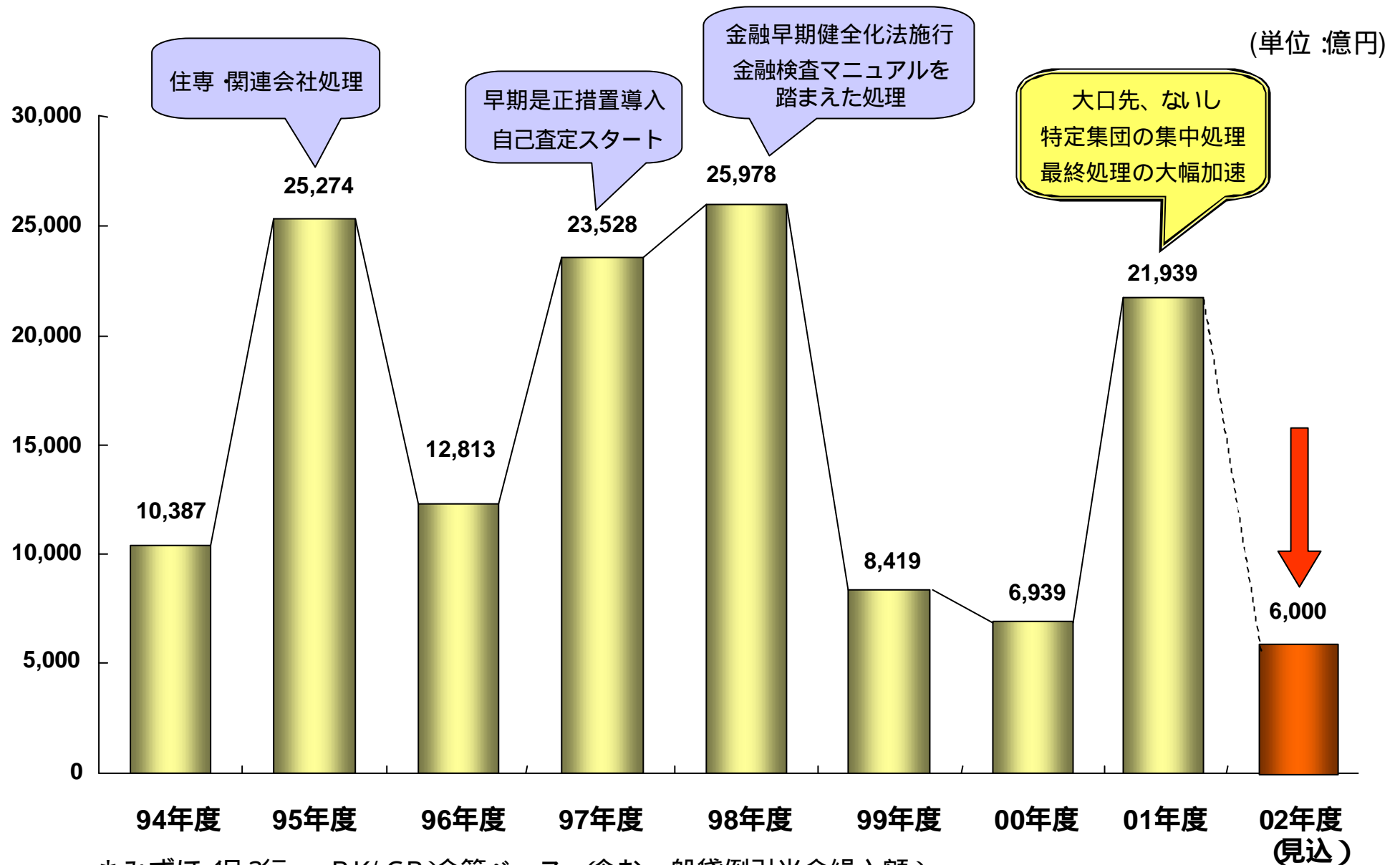
3. 2002年度業績予想 (1) 業績予想 (総括)

2002年度業績予想

【単位：億円】

みずほホールディングス 連 結		単体ベース		みずほ銀行 (BK)	みずほコーポレート 銀行 (CB)
		業務純益 (一般貸倒繰入前)	与信関連費用	經常利益	当期純利益
經常収益	37,000			4,500	4,300
經常利益	4,700			3,000	3,000
当期純利益	2,100			1,500	2,000
				750	1,100

(1) 業績予想 (総括) 与信関係費用



(2) BK / CB別収益計画

みずほ銀行

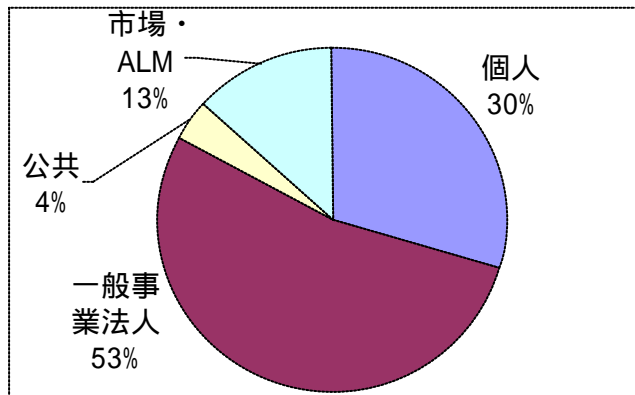
◆ 02年度収益計画

【億円】

	02年度計画
資金利益	8,250
その他	2,400
業務粗利益	10,650
経費	6,150
業務純益	4,500
与信関係費用	3,000
経常利益	1,500
当期利益	750

◆ 業務粗利益内訳

(一部本部勘定を除く部門別構成比)



みずほコーポレート銀行

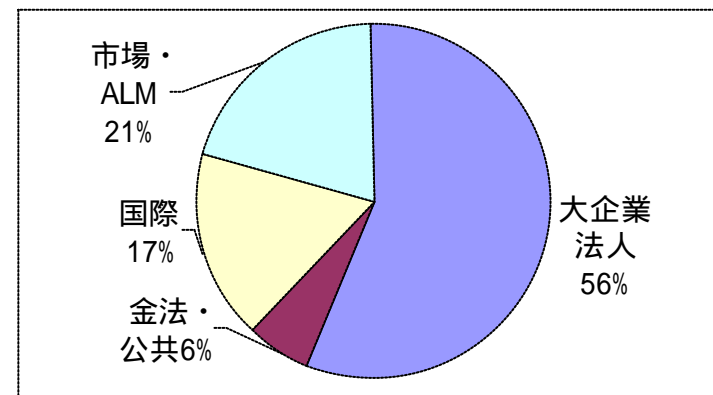
◆ 02年度収益計画

【億円】

	02年度計画
資金利益	4,650
その他	2,750
業務粗利益	7,400
経費	3,100
業務純益	4,300
与信関係費用	3,000
経常利益	2,000
当期利益	1,100

◆ 業務粗利益内訳

(一部本部勘定を除く部門別構成比)



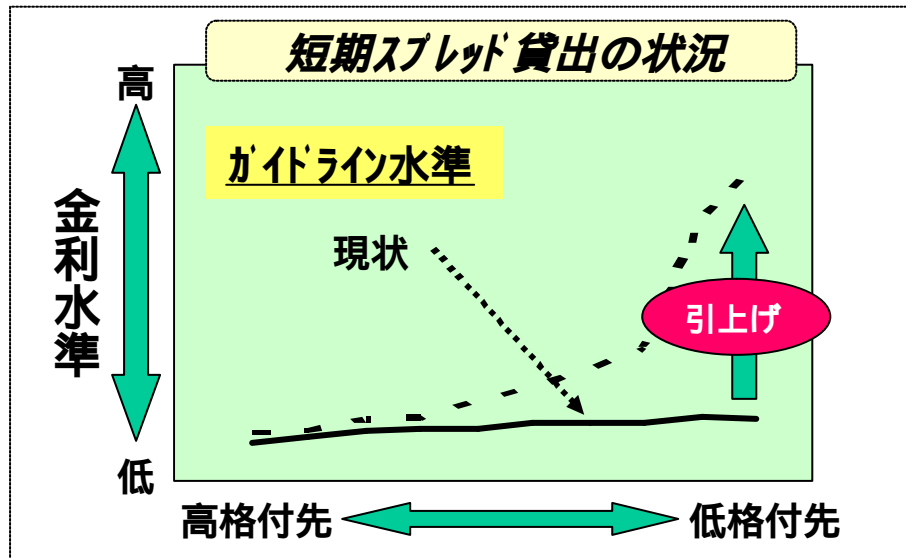
(2) BK / CB別収益計画

みずほ銀行

リスクに見合うスプレッド水準確保

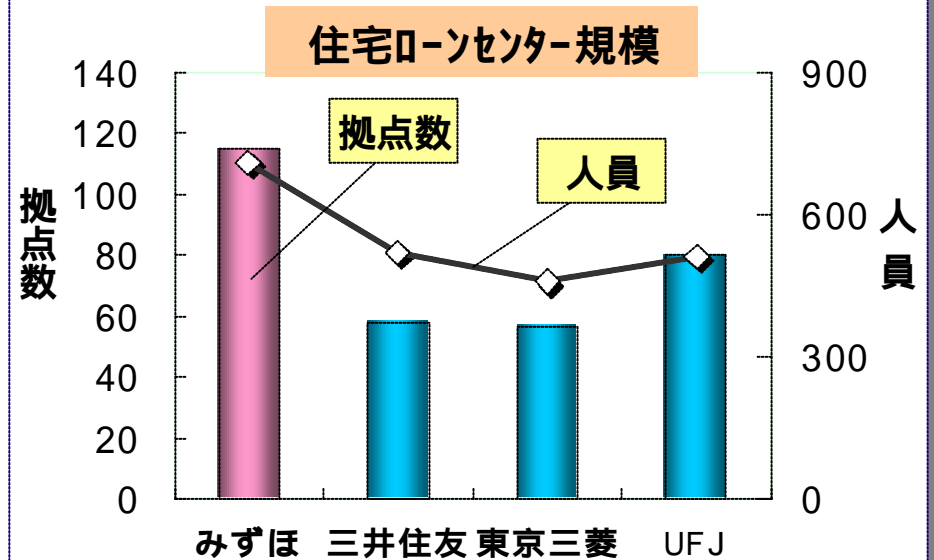
新みずほ「金利ガイドライン」の適用

- 「金利ガイドライン」水準を顧客に開示
- 低格付先に対する新たな切り口での金利改善交渉
顧客別交渉方針に基づき採算(質)重視の運営徹底



住宅ローンの増強

住公制度改正に伴う新たなビジネスチャンス
の捕捉
住宅ローン金利優遇 保証料優遇キャンペーン
実施による獲得推進
みずほの強みを活かした住宅ローン獲得
ルート別施策展開
(職域ルート・宅建業者ルートとのネットワーク強化)



(2) BK / CB別収益計画

みずほコーポレート銀行

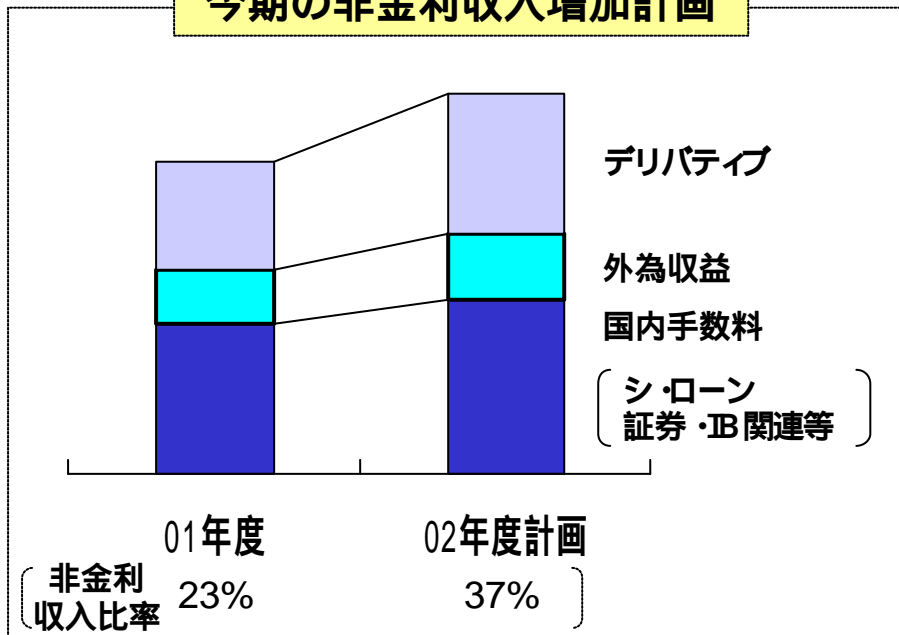
非金利収入の増強

ストック(アセット)に依存しない
新しいフィービジネスの確立



3~5年後に非金利収入比率5割へ

今期の非金利収入増加計画



プロダクツ営業力の強化

顧客の抱える経営諸課題に対し
的確なソリューションを提供

- 企業再建・再生、事業再構築に
フォーカスしたプロダクツの提供
- アレンジャー型・資産回転型ビジネス
の推進
- RMを中核としたみずほグループ内
各社とのシナジー発揮

みずほ
の強み

M & A、シナジー、ABS 等

グループ内
シナジー

みずほ証券

資本市場・
M & A・エクイティ
証券化等

みずほ信託

401k・年金・
証券代行
カスティー等

グループ各社

リース・カード
投信顧問・投信
ファクタリング等

4. 新しいみずほの姿 (1)新みずほの経営

- ◆ 環境の変化に柔軟に対応する経営
- ◆ 効率的・機動的なマネジメント
- ◆ 顧客・業務に応じた高い専門性の発揮

グループ企業価値極大化

みずほホールディングス

グループの企業価値の極大化

- リスクキャピタル配賦 リスク制御と収益管理
- グループ統合リスク管理
- グループ・ブランド・マネジメント

みずほ銀行
(BK)

みずほポレイト
銀行
(CB)

みずほ証券

みずほ信託銀行

関連金融会社群

- クレジットカード:ユーシーカード
- ファクタリング:みずほファクター
- ベンチャーキャピタル:みずほキャピタル
- 証券:みずほインベスターズ証券 新光証券
みずほインターナショナル
- 運用会社:第一勧業アセットマネジメント・
富士投信投資顧問 興銀第一ライフアセットマネジメント
- 信託:みずほアセット信託 資産管理サービス信託
- デリバティブズ:みずほキャピタルマーケットツ 等

(2) 傘下 2銀行 (BK・CB)の概要

みずほ銀行 (BK)

〔従業員数 :24,593人、国内本支店 :563、国内無人店舗 約5,700〕

個人 国内一般事業会社・地方公共団体

- 国内最大級のネットワーク
- トップクラスの国内法 個人顧客基盤
- 数多くの分野で邦銀No 1の実績
(個人預り資産、居住用住宅ローン、中小企業貸出等)

- MHFG及びみずほ銀行の「強み」の実現
 - No 1事業ポートフォリオの強化拡充
 - 非金利収入の強化
- 大胆かつスピーディーな「攻めの経営リストラクチャリング」の推進
 - 不良債権処理のスピードアップ
 - リスクに合った金利水準の確保
 - 経費構造等の抜本的な見直し

みずほコーポレート銀行 (CB)

〔従業員数 :5,852人、国内拠点 :18、海外拠点 :75 (現法等含む)〕

大企業・金融法人・公団/事業団・海外企業

- 国内上場企業の約 7割と取引
- 非日系先のフォーチュン 500先の 7割をカバー
- 証券・信託他、強力な関係会社との連携によるグループ総合金融サービス力

- ソリューションビジネスを中核としたRM戦略と顧客基盤の一層の強化
 - プロダクトビジネス重視
 - グローバルビジネス重視
- 戦略的ポートフォリオマネジメントの実施
- スtock (アセット)に依存しない新しいフィービジネスの確立

顧客

特徴

経営戦略・方針

(3) みずほフィナンシャルグループの強み

顧客基盤

➢ 個人	～ 口座数 : 3,080万	・預り資産残高	: 35兆円
		・居住用住宅ローン	: 9兆円
➢ 一般事業法人	～ 取引先数 : 17万	・中小企業向け貸出金	: 34兆円
➢ 大企業法人	～ 取引先数 : 1万	・大企業向け貸出金	: 25兆円
➢ 海外	～ 非日系先 : 4,500社	・在外支店貸出金	: 10兆円

ネットワーク

➢ 国内有人拠点数	: 664ヶ店	・インターネットバンキング利用者数	: 91万人
・国内無人店舗数	約 5,700		
➢ 海外(主要マーケットを全て加へ)	: 75拠点		

プロダクト力

・会員制サービス	: 643万人	・デビットカード利用実績	: 1,100億円
・シジケートローン組成実績	: 380億ドル	・プロジェクトファイナンス実績	: 32億ドル
・国内SB主幹事関与額	: 8,548億円	・投資顧問年金資産	: 5.5兆円
・国内ABS主幹事関与額	: 2,002億円	・投資顧問契約資産	: 8.1兆円
・国内M & A仲介	: 82件/283億ドル	・債権流動化金額	: 2.8兆円
・国内不動産証券化金額	: 1,975億円	・遺言信託受託件数	: 8,909件

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。